

各教科の結果と質問紙調査との関連を分析して、正答率の高い傾向にある児童生徒

| 生活に関わること                                                                                                                 | 学習に関わること                                                                                                                                          |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"><li>● 朝食を毎日食べている。</li><li>● 起床、就寝時刻が決まっていて守っている。</li><li>● 学校に行くのが楽しいと感じている。</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>● 読書が好きである。</li><li>● 授業での話し合い活動で多様な考えに気づき、学びを深めている。</li><li>● ICT機器を活用し、わからないことがあるとすぐに調べて学習している。</li></ul> |

学校での取り組み

学力向上に向けた今後の取り組みとして

- 飯館村教育委員会版「令和7年度 学力向上推進プラン」の飯館型授業スタイルを基に学習の全過程で児童生徒の活動を認め、称賛しながら、一人ひとりの姿を見取り、支援していきます。
- 少人数教育のメリットをいかして個に応じた指導を継続していきます。さらに、福島県教育委員会から出された「学びの変革推進プラン」に基づいて、児童生徒が主体的で対話的な学びを進め、「学び出す」「学び合う」「学びとる」授業の展開を進めていきます。
- ICT機器を積極的に活用し、協働的な学びや思考力・判断力・表現力の向上に役立たせてきました。引き続き活用しながら個別最適な学びにもつなげていきます。
- 思考力、判断力、表現力の向上のために、授業では児童生徒たちの「話すこと・聞くこと」の充実を図り、自分の考えを説明したり、文章を書いたりする機会を増やしていきます。



家庭での取り組み

- 毎日の生活リズム（起床・就寝・食事の時間）を整え、規則正しい生活を心がけましょう。
- 「アウトメディアチャレンジ」を基にゲームやスマートフォンの使い方を親子で話し合いルール作りをしましょう。
- 読書の習慣をつけさせましょう。家庭で本と触れ合う機会をつくりましょう。
- 「家庭学習の手引き」を参考にお家での学習を習慣化させましょう。

問 飯館村教育委員会 ☎0244-42-1631



令和7年度 学校と家庭の連携による

### 家庭学習の手引き

子どもたちの生きる力の基盤となる学力の向上は、一朝一夕にかなうものではなく、日々の積み重ねが必要です。また、子どもたちの学力は、学校だけ、家庭だけの取り組みで伸びるものではありません。学校と家庭が連携し、子どものやる気を引き出すことが大切です。学校と家庭が手を携えて、飯館村の子どもたちが夢をいだし、自分の道を切り拓くために、学習や生活を「改善する力（自己マネジメント力）」を育てていきましょう。

**家庭学習のポイント**

- 学習時間を決めましょう  
- 学習時間や場所を決め、学習の習慣づけを促します。  
- 勉強に励んだ学習時間を記録し、毎日確認します。
- めあてをもって取り組ませましょう  
- 学習ノートには、「めあて」を記入し、達成した「めあて」を記入するようにします。  
- 学習で達成感を味わうことで、学習意欲を高めることができます。
- 頑張りをほめてめどめましょう  
- 学習の成果や頑張りをほめて、学習の習慣づけを促します。  
- 学習の成果や頑張りをほめて、学習の習慣づけを促します。
- 学習環境を整えましょう  
- 机には必要なものだけを置く。  
- 机の上は片付け、学習環境を整えましょう。

飯館村立いで希望の里学園

各家庭に配付している「家庭学習の手引き」。

令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果から

令和7年4月に全国学力・学習状況調査が行われました。

この調査の目的は、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、今後の教育活動に役立てていくことです。今年度は3教科（国語・算数・数学、理科）の教科調査と質問紙調査（学習・生活状況に関する質問）を実施しました。

飯館村教育委員会では、調査結果から子ども達のよさや課題を把握し、継続的な検証改善サイクルを確立しながら確かな学力を育むことを目指しています。

福島県の傾向

- 小・中学校国語と理科が全国平均をやや下回っている。小学校算数と中学校数学においても全国平均を下回っているが、昨年度より全国との差が縮まっている。
- 質問紙調査から「学級の友だちとの間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができる」と答えた児童生徒は全国平均を上回っている。
- 全国平均と比べてICT機器を効果的に活用した協働的な学びの推進に課題がある。

飯館村の傾向

- 前期課程（小学校）国語は全国平均を上回っている。算数、理科は県と同程度である。後期課程（中学校）の傾向は県と同程度である。
- 質問紙調査から「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う」と答えた児童生徒は全国平均及び県平均を上回っている。
- 授業におけるICT機器の活用頻度は全国や県平均に比べてとても高い。
- 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）家庭で勉強する時間について、後期課程（中学校）は全国平均を上回っているが、前期課程（小学校）は下回っている。

